

呉工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	建築構法 I	
科目基礎情報						
科目番号	0028		科目区分	専門 / 選択必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年	1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	青木博文『建築構造』(実教出版)、柳原正人ほか『必携建築資料』(実教出版)、古賀昌之ほか『建築構造演習ノート』(実教出版)					
担当教員	篠部 裕					
到達目標						
建築構造のなりたち、分類、関連する法律や規準について理解する 在来軸組構法の構造形式と軸組・耐力壁・小屋組等の構成について理解する 枠組壁構法の構造形式について理解する						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	建築構造のなりたち、分類、関連する法律や規準について適切に理解している		建築構造のなりたち、分類、関連する法律や規準について理解している		建築構造のなりたち、分類、関連する法律や規準について理解できていない	
評価項目2	在来軸組構法の構造形式と軸組・耐力壁・小屋組等の構成について適切に理解している		在来軸組構法の構造形式と軸組・耐力壁・小屋組等の構成について理解している		在来軸組構法の構造形式と軸組・耐力壁・小屋組等の構成について理解できていない	
評価項目3	枠組壁構法の構造形式について適切に理解している		枠組壁構法の構造形式について理解している		枠組壁構法の構造形式について理解できていない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)						
教育方法等						
概要	「建築構法」の授業は建築物がどのようにして形作られるのかを学ぶものであり、1年次では木質構造を対象として、構造の特徴、材料の基本的な性質や木質構造を構成する部材の種類や役割について学習する。本授業は就職・進学のいずれにも関係する。					
授業の進め方・方法	講義を基本とする。適宜レポート課題を課す。					
注意点	「総合評価割合」の「合計」100%のうち60%以上到達すれば合格とします。試験については、中間試験35%と期末試験35%として扱います。 この科目の内容を理解するためには、教科書の内容をただ覚えるのではなく、身近にある建築物を観察してその建築物がどのようにしてつくられているのかを実際に見ることや授業の内容との対応を自分で考えることがとても重要です。日頃からたくさんの方々の建築物を見て考える習慣を身に付けてください。新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	災害による建築物の被害、建築構造の歴史	建築構造の歴史的発達のおらましの基礎を説明できる		
		2週	建築構造の分類、建築物に働く力、法規・規準	建築構造の材料・作り方・形による分類を、建築物に働く力の種類を説明できる		
		3週	木構造の構造形式、木材	木構造と特徴と構造形式を説明できる		
		4週	木材の性質と木質材料	木材の性質と木質材料の特徴を説明できる		
		5週	木質構造の接合方法	木質構造の接合方法について、継手・仕口・接合金物を説明できる		
		6週	基礎、軸組の構成、土台	基礎を支える地盤の性質と基礎の役割や構成について説明できる		
		7週	中間試験	中間試験までの学習内容を理解している。		
		8週	答案返却・解答説明、軸組の構成部材	軸組について主要な構成部材の名称とその役割を説明できる		
	4thQ	9週	耐力壁と筋かい	耐力壁と筋かいの役割について説明できる		
		10週	小屋組	小屋組について主要な構成部材の名称とその役割を説明できる		
		11週	床組	床組について主要な構成部材の名称とその役割を説明できる		
		12週	階段、開口部	階段、開口部について主要な構成部材の名称とその役割を説明できる		
		13週	外部仕上げ	外部仕上げについて主要な構成部材の名称とその役割を説明できる		
		14週	内部仕上げ	内部仕上げについて主要な構成部材の名称とその役割を説明できる		
		15週	学年末試験	学年末試験までの学習内容を理解している。		
		16週	答案返却・解答説明			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	構造	建築構造の成り立ちを説明できる。	4	後1
				建築構造(W造、RC造、S造、SRC造など)の分類ができる。	4	後2

			骨組構造物に作用する荷重の種類について説明できる。	4	後2
			木構造の特徴・構造形式について説明できる。	4	後3,後4
			木材の接合について説明できる。	4	後5
			基礎、軸組み、小屋組み、床組み、階段、開口部などの木造建築の構法を説明できる。	4	後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14

評価割合

	試験	小テスト	レポート	態度	その他	合計
総合評価割合	70	0	25	5	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	25	5	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0